

しがけん ぶんか しんこう きほん ほうしん
滋賀県 文化振興 基本方針

だい じ
(第4次)

ばん
～わかりやすい版～

れいわ ねん がつ
令和8年3月

しがけん
滋賀県

その1

しがけん ぶんか しんこう きほん ほうしん
滋賀県 文化振興 基本方針 って、なに？

基本方針を つく 作る りゆう 理由や きかん 期間、ぶんかげいじゆつ 文化芸術の はんい 範囲などについて、せつめい 説明します。

その2

ぶんかげいじゆつ かつどう ばしょ じゆんび ととの
文化芸術 活動が できる場所や 準備は 整っているの？

文化芸術 活動の たの 楽しみ方の かた 変化や へんか 文化芸術 活動についての ぶんかげいじゆつ かつどう アンケート結果を あんけーと 説明します。

その3

ぶんかげいじゆつ ちから し が けん げんき たの
文化芸術の 力で 滋賀県を 元気で 楽しく するために、なにをしたの？

しがけん しがけんが これまでに と 取り組んできたこと、これから と 取り組まなければ いけな いけないことを せつめい 説明します。

その4

しがけん ぶんか しんこう きほん ほうしん だい じ もくひょう
滋賀県 文化振興 基本方針（第4次）の 目標って、なに？

しがけん しがけんが めざ 目指す もくひょう 目標と もくひょう 目標を と かなえるために と 取り組むことの かんが 考え方を かた 説明します。

その5

もくひょう
目標を かなえるために、これから なにをするの？

しがけん しがけんが これから と 取り組むこと、もくひょう 目標とする すうじ 数字について、せつめい 説明します。

その6

きほんほうしん すす
基本方針を 進めるために、なにをするの？

これから きほんほうしん 基本方針を すす 進めるために、しがけん 滋賀県が ぶんかしせつ 文化施設などと いっしょ 一緒に と 取り組むことについて せつめい 説明します。

しがけん ぶんかしんこう きほんほうしん 滋賀県 文化振興 基本方針 って、なに？

基本方針を作る理由

うた だんす ぶんかげいじゆつ わたし かんどう あんしん きも
歌や ダンスなどの 文化芸術は、 私たちに 感動や 安心して ほっとする気持ちを くれるものです。

そして、いろいろなことに 気づく 力や 新しいことを 考える 力を 育てます。

さらに、みんなが 仲良く 助け合ったり、 お互いに 分かり合える きっかけにも なります。

ぶんかげいじゆつ ちから しがけん げんき たの きほんほうしん つく
文化芸術の 力で 滋賀県を 元気で 楽しく するため、基本方針を 作ります。

期間

れいわ ねんど ねんど れいわ ねんど ねんど ねんかん ほうしん
令和8年度（2026年度） から 令和12年度（2030年度） までの 5年間の 方針です。

文化芸術の範囲

げいじゆつ しょうせつ おんがく びじゆつ こうげい しょどう しゃしん げき しばい おど ばれえ だんす
○ 芸術（小説、音楽、美術や工芸、書道、写真、劇やお芝居、踊り（バレエやダンスなど）、

えいが まんが あにめ
映画や 漫画、アニメなど）

ちいき う つ ぶんかてきしさん たてもの どうぐ ぶんかざい でんとう むかし ひと く ほうほう さどう
○ 地域で 受け継がれてきた 文化的資産（建物や 道具などの 文化財、伝統や 昔の人たちの 暮らしの方法（茶道、
かどう しょどう しょくぶんか
華道、書道、食文化など）

ばしょ す ひと いっしょ けしき やま かわ こ まちな
○ その場所に 住む人たちと 一緒に つくられてきた すてきな景色（山や 川、びわ湖、街並みなど）

ぶんかげいじゆつ かんけい ふく あたら そうぞう ぶんかげいじゆつ ふく
そのほか、文化芸術と 関係することも 含みます。また、新しく 創造される 文化芸術も 含みます。

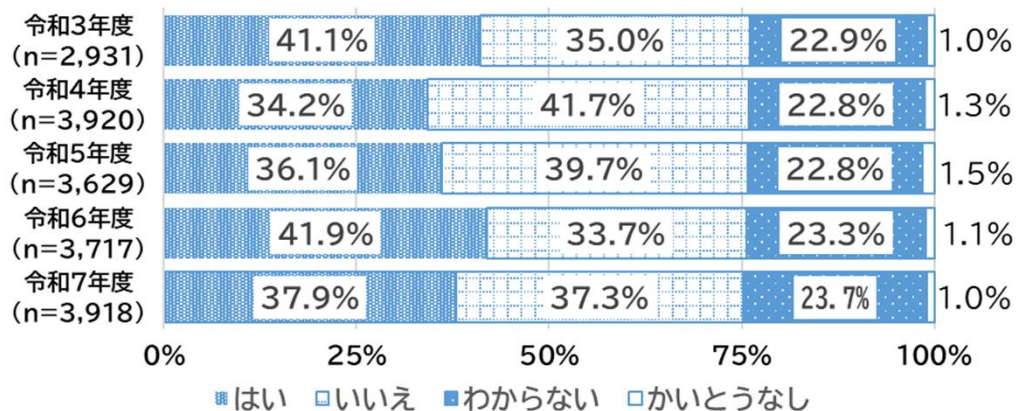
ぶんかげいじゆつ かつどう ばしょ じゆんび ととの 文化芸術 活動が できる場所や 準備は 整っているの？

あたらし ぶんかげいじゆつ たの かつ 文化芸術の 楽しみ方

- たくさんの人が スマートフォンを 使うようになり、音楽や 劇などの 公演が ライブ配信され、いつでも、どこでも、文化芸術を 楽しむことができるようになりました。
- また、無料で 見られる 動画や 毎月 決まったお金で、音楽や 映画が 楽しめる サービスが 出てきたことで、もっと 簡単に、文化芸術を 楽しめるよう になりました。

ぶんかげいじゆつ かつどう あんけーと けっか 文化芸術 活動についての アンケート結果

ぶんかげいじゆつ かつどう と く かん 文化芸術 活動を 取り組むことが できると 感じましたか



さんこう だい かい だい かい けんせい よろん ちょうさ
【参考】第54回～第58回 県政 世論 調査

ぶんかげいじゆつ かつどう ばしょ じゆんび
文化芸術を 活動が できる場所や 準備が そろっていると
おも ひと ぱーせんと
思う 人は、だいたい 40% くらいです。

これまで ^{しがけん} 滋賀県が ^{とく} 取り組んだこと

- ^{しゅわつうやく} 手話通訳や ^{じまく} 字幕を ^つ 付けるなど、^{しょうがい} 障害のある人の ^{ぶんかげいじゅつ} 文化芸術の ^{かんしょう} 鑑賞を ^{たす} 助ける ^{まーく} マークを ^{つく} 作りました。
- ^{ほーる} 「ホールの子 ^こ 事業」を ^{おこな} 行い、^{おほ} 多くの ^こ 子どもたちに ^{げいじゅつ} 芸術の ^{かんどう} 感動や ^{たの} 楽しさを ^{つた} 伝えました。
- ^{ぶんかげいじゅつ} 文化芸術の ^{かつどう} 活動をする人が ^{ひと} 相談できる ^{そうだん} 場所（^{ばしょ} アートの ^{あーと} 窓口しが）や ^{まどぐち} 勉強会などを ^{べんきょうかい} 開きました。
- ^{すば} 素晴らしい ^{さくひん} 作品をつくった人や、^{ひと} 文化芸術で ^{ぶんかげいじゅつ} 滋賀県を ^{しがけん} 元気にした人に ^{げんき} 滋賀県文化賞などを ^{ひと} おくりました。
- ^{ひこねじょう} 彦根城の ^{せかいいさん} 世界遺産の ^{とうろく} 登録を ^{めざう} 目指して、^{とく} 取り組みました。
- ^{まぼろし} 「幻の ^{あづちじょう} 安土城」 ^{ふくげん} 復元プロジェクトで、^{あづちじょうこうこはくぶつかん} 安土城考古博物館を ^{あた} 新しくしたり、^{あがり} アプリを ^{つく} 作りました。
- ^こ 子どもが ^{ぶんかげいじゅつ} 文化芸術を ^{たいけん} 体験できる ^{いべんと} イベントを ^{ひら} 開いたり、^{しょうがい} 障害のある人が ^{ひと} つくった ^{さくひん} 作品の ^{てんらんかい} 展覧会
 （^と ぴかっto ^{あーとてん} アート展） ^{ひら} を開きました。

^{かんしょう} 鑑賞を ^{たす} 助ける ^{まーく} マークの例



^{うけつけ} 受付で ^{ひつだん} 筆談します。



^{じまく} 字幕が ^あ あります。



^{あーと} 「アートの ^{まどぐち} 窓口しが」の ^{ろごまーく} ログマーク



^と ぴかっto ^{あーとてん} アート展の ^{ようす} 様子

しがけん と く
これから 滋賀県が 取り組まなければ いけないこと

- せいべつ ねんれい しょうがい す ばしょ かんけい だれ じゆう あんしん ぶんかげいじゅつ
 ・性別、年齢、障害のあるなし、住んでいる 場所に 関係なく、誰でも、いつでも 自由に 安心して、文化芸術を
 たの ばしょ ひつよう
 楽しめる 場所が 必要です。
- こ わかもの ぶんかげいじゅつ たの ばしょ ひつよう
 ・さらに、子どもや 若者が 文化芸術を 楽しめる 場所が 必要です。
- すまーとふぉん でじたる つか ひと ぶんかげいじゅつ たの ひつよう
 ・スマートフォンなどの デジタルを 使って、たくさんの方が 文化芸術を 楽しめるように することが 必要です。
- ぶんかげいじゅつ と く ひと かつどう たす ぶんかげいじゅつ す
 ・文化芸術を 取り組む 人たちが これからも ずっと 活動できるように、助けることや 文化芸術を 好きになって、
 おうえん ひと ふ ひつよう
 応援してくれる人を 増やすことが 必要です。
- ひと いっしょ きょうりょく と く ひつよう
 ・いろいろな人と 一緒に 協力して、取り組むことが 必要です。

しがけん めざ もくひょう
滋賀県が 目指す 目標ぶんかげいじゆつ ちから ところ ゆた かつりよく しが つく
文化芸術の 力で 心 豊かな 活力ある 滋賀を 創るたの ぶんかげいじゆつ ちから げんき ところ しあわ しが
みんなが 楽しめる 文化芸術の 力で 元気 いっぱいで 心が 幸せになれる 滋賀を つくります。もくひょう と く かんが かた
目標を かなえるために 取り組むことの 考え方1 ば ひろ いんくるーしぶ ぶんかげいじゆつ すいしん
1 場を 広げる（インクルーシブな 文化芸術の 推進）ぶんかげいじゆつ たの う も たいせつ けんり
文化芸術を 楽しんだり、 つくったり することは、 みんなが 生まれつき 持っている 大切な 権利 です。ぶんかげいじゆつ そうぞう かん ところ そだ
また、文化芸術は、 いろいろなことを 創造したり、 感じたり する心を 育てます。くに ひと なんさい しょうがい かね
だから、どこの 国の人でも、何才でも、障害があっても なくても、お金が あっても なくても、す じぶん ぶんかげいじゆつ たの かんどう
どこに、住んでいても、 みんなが 自分らしく 文化芸術を、 楽しみ 感動できるように、でじたるぎじゆつ つか いんくるーしぶ ぶんかげいじゆつ めざ
デジタル技術※1を 使って、インクルーシブ※2な 文化芸術を 目指します。でじたるぎじゆつ コンピューター じしん まな えーあい じんこうちのう あたら ぎじゆつ
※1 デジタル技術は、コンピューター 自身が 学ぶことができる AI（人工知能）などの 新しい 技術のこと。いんくるーしぶ ぶんかげいじゆつ しょうがい う くに ねんれい ちが みと だれ たの ぶんかげいじゆつ
※2 インクルーシブな 文化芸術は、障害のあるなしや 生まれた 国、年齢などの 違いを 認め、誰もが 楽しめる 文化芸術のこと。 6

2 人を 育み、 支え、 つなげる（文化芸術を 未来に つなぐ）

文化芸術が これからも ずっと 発展するよう、 普段から 文化芸術を 楽しむ 応援者（ファン）を 増やし、 広める 取り組み を すす 取組を 進めます。

そして、 文化芸術をする人、 守り続ける人、 文化芸術と 社会の 橋渡しを する人など 文化芸術に 関わる人を 育て、 増やすことを 目指します。

3 滋賀の 魅力を 高める（文化的資産や 文化芸術の 魅力の 再認識 および 価値の 創造）

滋賀県では、 これまでから 文化的資産に 旅行に 来てもらったり、 糸賀一雄さんたちが 始めた 障害のある人の 文化芸術 活動に 取り組んだり、 学校に プロの芸術家を 呼んだり、 子どもたちが 文化施設に行ったり、

ほかの分野と 一緒に 取り組んで きました。 これからも、 文化芸術を 観光や 福祉、 まちづくりなど いろいろな人と 協力し、 文化芸術の たくさんの 素晴らしい 価値を 役立てて、 滋賀の 魅力を 高めるため 取り組みます。

1 場を 広げる (インクルーシブな 文化芸術の 推進)

とくく 取り組むこと

(1) みんなが 文化芸術を 楽しめるように

- ・ 県立美術館や 県立琵琶湖博物館などで、楽しい 展示会を 開きます。

また、動画などを使って、いつでも どこでも 文化芸術を 楽しめるようにします。

(2) 子ども・若者の 文化芸術 活動が 充実するように

- ・ 「ホールの子」事業 など、文化芸術を 鑑賞したり、つくったりする 楽しさを 子どもたちに 伝えます。

(3) 障害のある人や 外国の人などが 文化芸術を 楽しめるように

- ・ 障害のある人の 作品の 展示会 (ぴかっtoアート展) を 開催します。

(4) 中学校の 部活動を 地域の人たちと 行うために

- ・ 教えてくれる 地域の人 の 情報を まとめ、学校や 地域の人たちが 知りたいことが 分かる 仕組みを つくります。

(5) 県立文化施設を これからも ずっと 使い続けるために

- ・ スケジュール をたてて、県立文化施設を 修理したり、つくりかえたりします。

ひと はぐく ささ ぶんかげいじゅつ みらい

2 人を 育み、 支え、 つなげる (文化芸術を 未来に つなぐ)

とく
取り組むこと(1) 文化芸術ぶんかげいじゅつをする人ひとや 受け継ぐ人うつひとを見つけ 育てるために

- 素晴らしい作品すばさくひんをつくった人ひとなどに 滋賀県文化賞しがけんぶんかしょうなどをおくったり、作品などの発表はっぴょうができるように、
応援おうえんします。

- 文化財ぶんかざいを守り 未来みらいに 伝えるため、大事な修理だいじしゅうりの技術ぎじゅつを選んで、「選定保存技術せんていほぞんぎじゅつ」として 決めて、
その技術ぎじゅつを 身に付ける人ひとを 育てます。

(2) 文化芸術ぶんかげいじゅつの 応援者おうえんしゃ (ファン) や 支える人ささひとを見つけたり、もっと増やすために

- びわ湖ホールこほーるや 県立美術館けんりつびじゅつかん、 県立琵琶湖博物館けんりつびわこはくぶつかんなどの 文化ボランティアぶんかぼらんていあや、 地域ちいきで 文化財ぶんかざいや 伝統文化でんとうぶんかを
守る人まもひとを 育て、 増やす 努力どりよくをします。

- 滋賀県文化芸術しがけんぶんかげいじゅつポータルサイトで、 県内けんないで 活動かつどうしている人ひとや 行われている イベントいべんとを 紹介しょうかいして、
もっと たくさんひとの人が 文化芸術ぶんかげいじゅつを 好きすになって もらえるようにします。

3 滋賀の 魅力を 高める (文化的資産や 文化芸術の 魅力の 再認識 および 価値の 創造)

とく 取り組むこと

- (1) 地域に 受け継がれてきた 文化的資産を 守り、次の 世代に 伝え、活かすために
- 文化財を 調査したり、大切なものとして 指定したり、修理して 保存します。また、埋まっている 文化財を 守ったり、文化財についての 情報を みんなに 分かりやすく 伝えます。
- (2) アール・ブリュット※3や 障害のある人などが つくった 作品の 素晴らしさを 伝えるために
- 県立美術館では、「アール・ブリュット」と呼ばれる 作品を 集めています。
 - いつでも 作品を 鑑賞できる コーナーを作ったり、特別な 展覧会を 開催したりして、滋賀県 ならではの 大切な 文化芸術として、その魅力を たくさんの人に 伝えます。
- (3) さまざまな 分野と 協力して 地域の 魅力を 高めるために
- 文化的資産を 紹介して、滋賀県に たくさんの人を 呼んだり、滋賀の 歴史や 文化のある 場所で、映画をとる ことを おすすめしたり、いろいろな分野と 協力して 盛り上げます。

※3 アール・ブリュットは、学校で 習う 絵の描き方に こだわらず、自分だけの 方法で つくった 作品のこと。

その5

もくひょう

目標を かなえるために、これから なにをするの？

もくひょう とうじ 目標とする数字

こうもく 項目	さくていじ 策定時 (令和7年度)	もくひょうち れいわ ねんど 目標値 (令和12年度)
① ぶんかげいじゅつ かつどう ぼしよ じゅんび おも ひと わりあい 文化芸術 活動が できる場所や 準備が そろっていると 思う 人の割合	37.9%	50.0%
② たいげんがっこう とうろく だんたい かず 「しがこども 体験学校」に 登録した 団体の数	190団体	220団体 (令和11年度目標)
③ しょうがいしゃとう ぶんかげいじゅつかつどう ささ きよてん じぎょう きょうりよく しまち かず 「障害者等の文化芸術活動を支える拠点づくり事業」と 協力した ことがある 市町の数	8市町	13市町
④ ぶんかげいじゅつ かつどう かず しがけん おうえん じぎょう かず 文化芸術 活動の数 (滋賀県が 応援している 事業の数)	245件	300件
⑤ しがけん げいじゅつぶんさい こうぼてん さくひん だん さいみまん ひと かず 滋賀県 芸術文化祭の 公募展に 作品を 出す 18歳未満の 人の数	75人	93人
⑥ ぶんかボランティア かず けんりつびじゅつかん ぼらんていあ こほーる げきじょうさぽーたー 文化ボランティアの数 (県立美術館 ボランティア、びわ湖ホール 劇場サポーターなど)	577人	690人
⑦ じぶん す ちいき ぶんかげいじゅつ おも ひと かず 自分が 住んでいる 地域に すてきな 文化芸術があつて、 すごいと思う 人の数	82.4%	85.0%
⑧ ちいき ぶんかげいじゅつ かんこう きょういく かつどう いっしょ おこ おも ひと かず 地域で 文化芸術が 観光や 教育など いろいろな 活動と 一緒に 行われていると 思う人の数	76.3%	90.0%

かんみん れんけい ぶんかげいじゆつかつどう しえん しく
官民 連携 による 文化芸術活動を 支援する 仕組み づくり

いっしょ と く
みんなで 一緒に 取り組むこと

ぶんかげいじゆつ ひと かつどう おうえん ひと やくだ じょうほう せいり
 ・文化芸術を する人と その活動を 応援する人をつないだり、役立つ 情報などを 整理します。

ぶんかげいじゆつ かつどう けいかく かつどう たす ひと ふ
 また、文化芸術 活動を 計画したり、みんなが 活動しやすいように 助けてくれる人を 増やします。

ぶんかげいじゆつ ひと ぶんかげいじゆつ たす しごと ひと ぶんかげいじゆつ ひと かね ひつよう
 ・文化芸術を する人と 文化芸術を 助ける 仕事をする人をつないだり、文化芸術を する人にお金や 必要なものを
 だ おうえん けんない ぶんかげいじゆつ おうえん しく つく
 出して 応援し、県内の いろいろな ところで 文化芸術を 応援する 仕組みを 作ります。

たと とりくみ
例えば、このような 取組を します



ちゃ たいけん ようす
 お茶を たてる 体験の 様子



ほーる こ じぎょう ようす
 「ホールの子」事業の 様子



ぶんかげいじゆつ かつどう そうだん
 文化芸術の 活動を 相談できる ところ



Event [イベント]
 ほーむぺーじ ぶんかげいじゆつ いべんと しょうかい
 ホームページで 文化芸術の イベントを 紹介

^{きょうりよく}協力して ^{いっしょ}一緒に ^{とく}取り組むこと

^{ぶんかげいじゆつ}文化芸術を ^{もあ}盛り上げるため、^{しがけん}滋賀県は、^{ぶんかしせつ}文化施設・^{がっこう}学校、^{ふくしせつ}福祉施設などと ^{きょうりよく}協力して、^{いっしょ}一緒に ^{とく}取り組みます。

^たその他のこと

^{まいとし}毎年、この^{基本方針}に ^か書いてあることが ^{きちん}とできているか、^{できていない}ことは ^{どんなことかなど}を ^{しら}調べて、
^{基本方針}に ^か書いてある ^{ないよう}内容について ^{はなあ}話し合い、^{必要}な ^{ひつよう}取組を ^{とりくみ} ^{おこな}行います。

^{たの}みんなが ^{ぶんかげいじゆつ}楽しめる ^{ちから}文化芸術の ^{ちから}力で
^{げんき}元気 ^{いっぱい}いっぱいで ^{こころ}心が ^{しあわ}幸せになれる ^{しが}滋賀
^{めざ}を目指して、^{とりくみ}取組を ^{すす}進めていきます。